

オズール クオリティ・レポート

パシフィックサプライ株式会社 Vol.1

2015年 2月

いつもオズール製品をご愛用くださりまして誠にありがとうございます。

オズール製品をお客さまに安心して長くお使いいただきたく、「オズール クオリティ・レポート」を発行いたします。実際の製品の破損事例をピックアップし、オズール社テクニカルマネージャーからのアドバイスと共に皆さま毎月1度お届けします。

皆さまと共に、エンドユーザーさまの3ライフ（生命・生活・人生）に寄り添い、製品の品質向上へ努めてまいります。

ICEROSS大腿用シールインX5ライナー

ご使用状況

使用期間：2ヶ月

ご使用者：60代、低活動、50kg

破損内容：ライナー内側が破損した

考えられる原因

ソケットのトリミングラインの端がライナーを傷つけてしまった

テクニカルアドバイス

①破損部分が大腿部内側の場合、ライナーは坐骨枝内側のすぐ遠位にてカットしてください。そうすることによってライナーの内側部分がソケット内に納まります。

②破損部分が後方で発生していた場合、座位をとられた時にソケットの後壁がライナーに負担を与えていないかご確認ください。

負担を与えている可能性がある場合は、ソケットの後壁のトリムラインの形状を変更する、あるいはライナーを坐骨結節の下でトリミングしてください（またはその両方を行ってください）。

③装着者がソケット内側壁上にライナーをかぶせることを希望される場合、ソケット内側壁の内側と外側の両方に丸みをつけ、滑らかにする必要があります。

〈おもて〉



〈うら〉



写真：ライナー破損例

ワンポイントアドバイス！

ソケットが部分的に強く圧迫するところに破損が生じやすいと思いますので、まずソケットの適合をチェックすることが必要な場合があります。坐骨収納部のようにトリミングが高い部分は、十分なフレアを設けることが破損の防止につながります。

